

令和4年度
夏号

広報誌 热氣球

■ 発行



佐賀中部病院 佐賀市兵庫南3-8-1 TEL 0952-28-5311



病院の理念

基本理念

1. 患者さん中心の医療を行い、質の高い安全な医療を提供します。
2. 皆様が安心して暮らせ、心の支えとなる病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんを中心としたチーム医療を行います。
2. 地域へ良質な保健（健診センター）・医療・福祉（老健施設、在宅ケア）の提供を行います。
3. 地域医療機関と密接に連携した医療を行います。

リハビリ支援ロボット「ウェルウォーク」を用いた 脳卒中リハビリテーションのご紹介

脳神経内科・リハビリテーション科診療部長

南里 悠介

「かぶとむし 初めてつかみし 笑顔かな」 青空にそびえる入道雲に、いよいよ夏本番を感じる季節となりました。

さて今回は、脳卒中後の歩行障害に対するロボットを用いたリハビリテーションについてご紹介します。当院は佐賀市内の病院とともに、脳卒中リハビリテーションの地域連携に取り組んでいます【図1】。

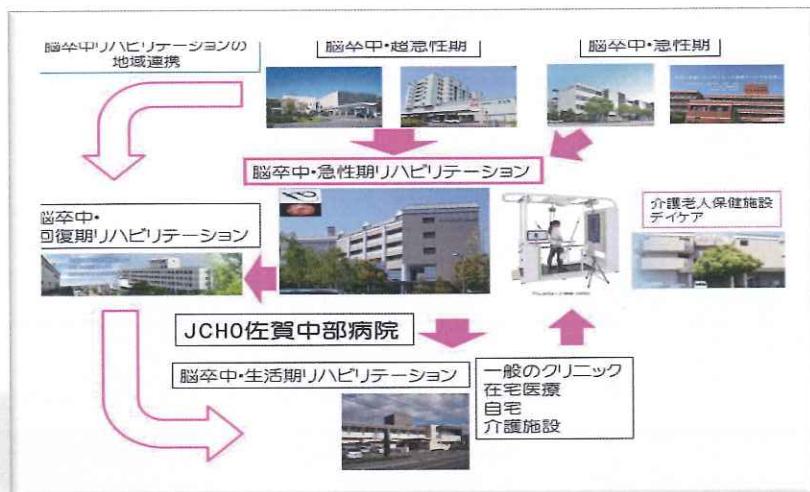


図1 脳卒中リハビリテーションの地域連携

そして当科では、トヨタと藤田医科大学で共同開発されたリハビリ支援ロボット「ウェルウォーク」を用いて歩行機能の改善に取り組んでいます。

ウェルウォークを用いた歩行訓練では、

- ・ハーネスでの吊り下げ機能で患者さんの転倒防止
 - ・麻痺側の下肢を機械でアシスト
 - ・患者さん自身が自分の歩行を視覚的・聴覚的にフィードバック、確認しながら歩行訓練ができる、
- などの特長が挙げられます【図2・3】。

訓練の時期については、脳卒中急性期だけでなく、回復期リハビリテーション病院をご退院され自宅療養中でも、ウェルウォークを用いた歩行訓練のご希望があれば積極的に受け入れを行っています。これまで車いす移動だった患者さんが、訓練後に杖歩行ができるようになられ介護でのリハビリに連携できたケ

ースもあり、ご本人やご家族の笑顔にスタッフ一同も励まされています。

また現在ウェルウォークは佐賀県では当院のみにあり、他の施設のリハビリテーションスタッフの方々のご見学もお受入れしています。

脳卒中後の歩行障害でお困りの際は、まずはお電話で当科外来の受診をご相談ください。

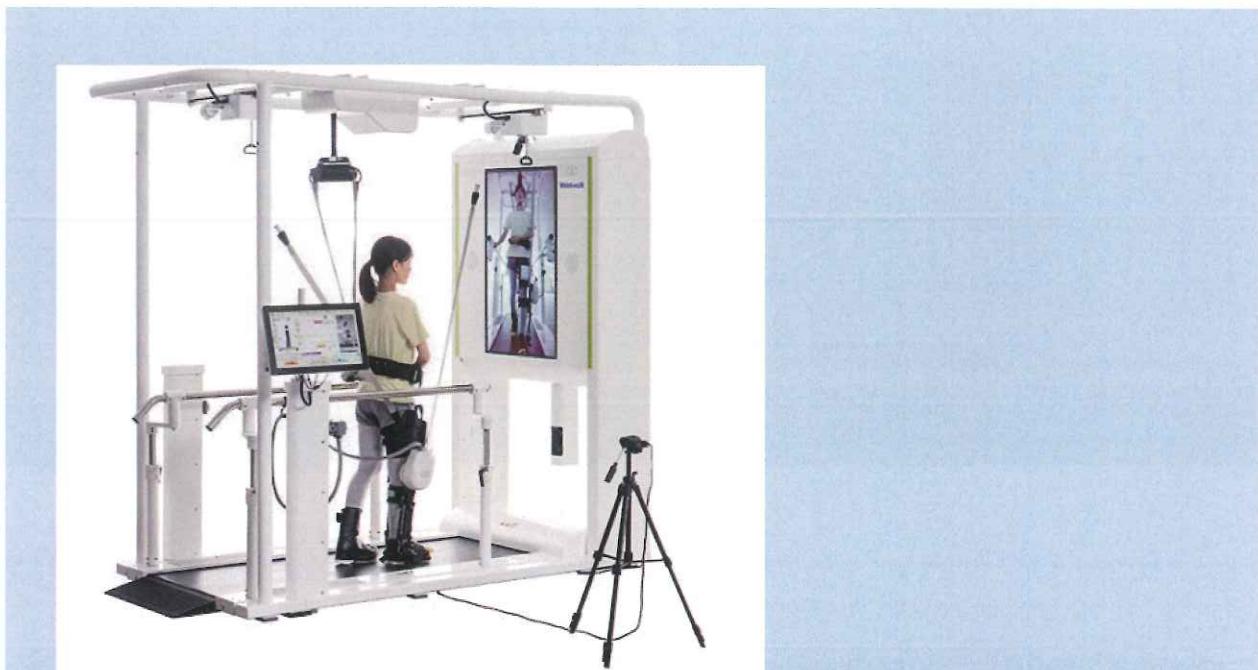


図2 ウェルウォーク



図3 ウェルウォークの基本構成

(* 画像の使用にあたっては、TOYOTAの許可をいただいているます。)

地域医療連携室について



地域医療連携室副看護師長 山下 将司

JCHO佐賀中部病院は、佐賀中部地域の二次医療機関で、附属の介護老人保健施設がある施設です。

地域医療連携室は、看護師3名・MSW1名・事務員2名で構成され多職種で連携し顔の見える関係づくりを目指しています。市内には佐賀大学医学部附属病院や佐賀県医療センター好生館という三次医療機関があるため、急性期治療を終えた患者さんの転院を受け入れています。また、地域の医療機関との窓口として、紹介患者さんの入院・診察・検査等の受け入れを円滑に行い、検査結果や返事等の情報発信・交換を行います。地域のクリニックや診療所と同じようにかかりつけ医としての役割や、日常の診療や健康管理を担います。もしも専門的な検査が必要なときや重症化したときは三次医療機関や専門の医療機関に患者さんを紹介する仕組みになっています。

地域医療連携室では、後方支援業務と呼ばれる患者さんの医療総合相談も行っています。患者さんの退院支援では、退院後の暮らしについての相談を受け、福祉施設や介護サービス機関と連携、在宅療養や施設入所、転院等へのサポートを行います。患者さんが退院後に受診する診療所や病院等と連携することも仕事の一つです。介護相談では介護保険や福祉制度に関する相談を受けてアドバイスをします。ケアマネージャーなど関係機関相談担当者からの連絡窓口ともなっています。当院で入院治療やリハビリを終えたら元の医療機関に患者さんを戻しますが、回復期病院、慢性期病院等への転院が必要な場合は、患者さんやその家族と相談しながら転院先の病院を探します。転院先の地域医療連携室と連絡を取り合い、スムーズに転院ができるよう日程などの調整を行っています。

清掃活動を行いました



～清掃前～

病院西側の川の清掃は
年2回の恒例行事です



～清掃中～

職員で側道と川の中の
ごみを回収します



～清掃後～

ホットサンドメーカーなど…川の
中からもたくさんのごみを回収しました
今後も継続して行ってまいります



消防訓練を行いました

病棟での発火を想定した消火と避難誘導を行い、新人職員は消火器・消火栓の使用方法を学びました。



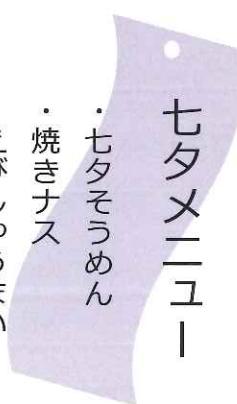
防災意識の向上
に努めます



今月のイベント食



七夕メニュー
・七夕そうめん
・焼きナス
・えびしゅうまい
・天の川ゼリー



新採用看護職員への褥瘡研修

皮膚・排泄ケア認定看護師 深谷 美香

令和4年度新採用看護職員研修の中で、褥瘡についての研修を行いました。

褥瘡発生は、患者さんにとって苦痛が生じると共に、QOLの低下、入院期間の延長にも繋がります。そのため褥瘡は「つくらない」ことが最も重要であり、個々の患者さんに応じた褥瘡ケアを計画・実践するために、リスクアセスメントが欠かせません。当院では厚生労働省危険因子評価表を取り入れており、入院時以外にADL変化時や状態変化時に評価をしています。各危険因子が何故褥瘡のリスクとなるのか、またその判断はどのようにするのかを、褥瘡発生の要因とともに講義を行い、後半に体位変換やポジショニングを中心とした予防ケアの演習を新採用看護職員同士で行いました。

演習の中で、不適切な体位変換やベッドギャッジアップを行うと「意外ときつい…」

「早く楽な体勢にしてほしい」という反応があり、体軸を意識したポジショニングでは「すごく楽」という反応や、ポジショニンググローブを使用した圧抜きでは「服に引っかかる手が入れやすい」「（患者役）手の違和感が少ない」「（患者役）してもらうと息がしやすい」という反応が見られ、如何に適切な体位変換やギャッジアップが必要か認識することができました。また、演習後には「患者さんのそばを離れる前に、きつくなかな大丈夫かなと、もう一度確認をする」という声も聞けました。

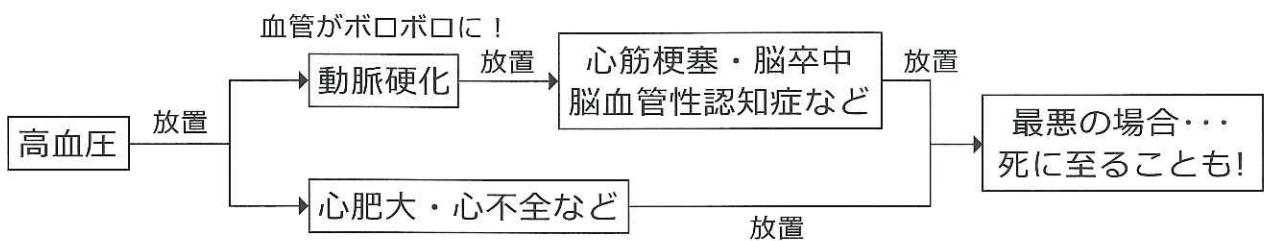
今度も患者さんが安心・安全・安楽に療養生活を送れるよう、スタッフみんなで協力して褥瘡予防ケアを行っていきたいと思います。



研修の様子

けんこう通信

第1回 なぜ高血圧は危ないの？



高血圧の原因は??

- ・乱れた食生活（塩分・糖分の摂りすぎ）
- ・肥満や運動不足
- ・喫煙
- ・遺伝
- ・ストレスや睡眠不足
- ・加齢
- ……など、様々！

また、腎臓病やホルモン異常が原因の場合もあります。

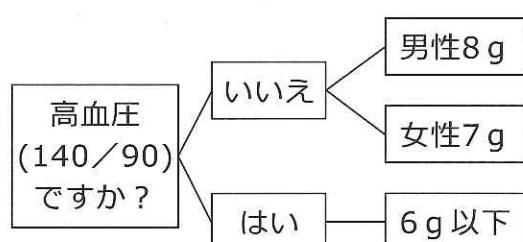
血圧を改善するには??

- ★生活習慣を改善しましょう！！
- ・塩分を摂りすぎない（目標は1日8g未満）
→出汁や香辛料を使うと良い
- ・過食を控え、標準体重を維持する
- ・睡眠をしっかり取る
- ・禁煙・節酒を心がける
(1日の目安量はビール大瓶1本、日本酒1合、グラスワイン2杯)
- ・生活の中に30分程度の運動を取り入れる
(ウォーキングなど有酸素運動がお勧め)

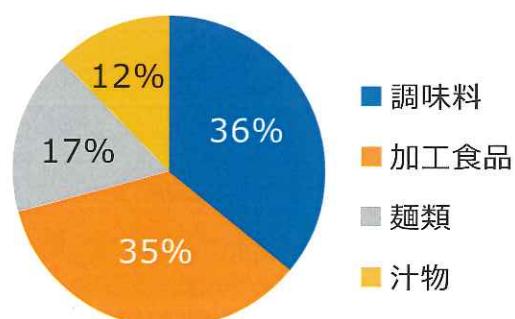
あなたは大丈夫？ 塩分摂取チェック！

- 味噌汁やスープを1日2回は飲む
または、ごはんに味噌汁は欠かせない
- ちくわはかまぼこなど練り製品、ハム、ウインナーなどの加工品が好き
- ごはんの友（梅干しや佃煮、漬物など）が好きで、いつも常備している
- 外食することが多い
- ごはんよりおかずの方が食べる量が多い
- 市販のお惣菜やインスタント食品をよく利用する
- うどん、そば、ラーメンなど麺類のスープは半分以上飲む
- すしや丼ものが好き
- 魚の干物や明太子などの塩蔵品をよく利用する
- おせんべいやスナック菓子をよく食べる

理想とする1日の塩分摂取量は??



塩分は調味料以外からも！



生活習慣を見直して、高血圧を予防しましょう！！